

Fun with Cancer Patients がん患者とがんトーク

2017年に実施した参画型／対話型アートプロジェクト『Fun with Cancer Patients：がん患者とがんトーク：金沢編』について、その成果と可能性についての紹介とデモンストレーションを行います。

2017年開催の様子

(<https://www.kanazawa-fringe.com/fun-with-cancer-patients>)

本プロジェクトでは「がんの玄人」である患者、家族、医師、看護師などがんに関わる専門家ら約45名のFwCP金沢メンバーが約150人の観客とともにがんに関わる体験や考えについて語り合いました。これは「病気」や「脆弱性」といった話題について日常生活で当たり前のように会話ができるようになるための試みとして実施致しました。

この度、当時の関係者らが、本プロジェクトを行ったことで自身や地域にとってどのような成果をもたらしたのかについてプレゼンテーションを行うとともに「がんトーク」の体験デモンストレーションを実施します。

セミナーの合間にぜひ気軽にご来場ください。金沢歌劇座のロビーにてお待ちしております。

ブライアン・ロベール（パフォーマー・演出家・脚本家）

木村 美代（看護師/石川県がん安心生活サポートハウスつどい場はなうめ）

黒田 裕子（交流課チーフ・プログラム・コーディネーター／金沢21世紀美術館）

FwCP金沢メンバー



撮影：Christa Holka

協力：ブライアン・ロベール、石川県がん安心生活サポートハウスつどい場はなうめ、

FwCP金沢メンバー、金沢21世紀美術館〔(公財)金沢芸術創造財団〕



Supported using public funding by
ARTS COUNCIL
ENGLAND

